

## 第1回 公立阿伎留医療センター 改革プラン評価委員会 議事録（要旨）

開催日時： 平成23年1月26日（水） 午後3時00分から午後5時00分  
開催場所： 公立阿伎留医療センター 地下1階 講堂  
出席委員： 鈴木委員、近藤委員、岡野委員、小机委員、大串委員、萩原委員、荒川委員  
欠席委員： 細渕委員、乙津委員  
事務局： 私市事務長、川浪看護部長、久野木総務課長、宮田財務課長、高木医事課長、  
江川総務係長

### 1 次第

- (1) 開会
- (2) 管理者挨拶
- (3) 委嘱状・任命書の交付（委員自己紹介）
- (4) 公立阿伎留医療センター改革プラン評価委員会設置要綱について
- (5) 委員長及び副委員長の選任
- (6) 議事
  - ① 公立阿伎留医療センター評価委員会開催スケジュール(案)について
  - ② 公立阿伎留医療センター改革プランの概要について
  - ③ 公立阿伎留医療センター改革プランの平成21年度実施状況について
  - ④ その他
- (7) 閉会

### ○ 議事要旨

#### 2 公立阿伎留医療センター評価委員会開催スケジュール（案）について

事務局より、(案)として平成23年1月（第1回）、同年5月（第2回）及び同年11月（第3回）並びに平成24年2月（第4回）と計4回、開催予定のスケジュールが提出され、具体的な日時を決定した後、全会一致で承認された。

また、事務局よりスケジュール中の住民意識調査（流域三市町村が共同で医療、保健及び高齢者福祉に関する調査。）の概要説明の際に、院内のアンケート調査の概要も5月の委員会に提出するように委員から要望が出され、事務局より資料提出するとの説明があった。

#### 3 公立阿伎留医療センター改革プランの概要及び平成21年度実施状況について

事務局より、改革プランの概要及び平成21年度実施状況の説明が行われ、各委員から意見、要望等が出された。（主だった意見等は次の通り）

## 【委員】

- ・ 入院収益が非常に低いのが課題だ。分析を行い、目標値を積み上げ、積算根拠と実際の数値の差を考えなければならない。重要な負債についての原因を分析する必要がある。次回、資料の提出をお願いしたい。
- ・ 医師や看護師が充実することで、患者の増加に繋がるのではないか。
- ・ 救急外来の体制強化が必要ではないか。救急外来を受診出来ず、他の救急病院に搬送するケースなどのデータは把握しているのか。
- ・ 医師や看護師、その他質の高いサービスが基本的な要因ではあるが、加えて需給バランスが取れているか、地域人口の問題、経済力の問題、患者の数、あるいは医療収入というのは非常に相関していると考えが如何か
- ・ 病診連携、病々連携など地域の医師とのネットワークや協力体制はとれているのか。
- ・ 潜在的需要をとらえておかないと、収益を上げるために医師を増員しても、結果的にバランスが本当に取れるのかどうか。実際に流域全体の将来人口は想定より増加していないので、非常に難しい状況ではないか。広域行政圏で役割分担するぐらいのことを視野に入れないと難しいのではないか。
- ・ 医師の年齢構成バランス、各科偏在などによる弊害が生じていないか
- ・ 人件費を削減する必要があるのではないか、次回、資料提出をお願いしたい。

## 【事務局】

- ・ 地域とのネットワークについては、西多摩広域行政圏の保健部会という部会があり、2月7日の市町村長の協議会の中で報告される予定である。平成23年度以降に分科会を設け、具体的にどのようなネットワークができるかという議論をする予定である。
- ・ 病々連携については、難しい事案ではあるが、過去に事例もあり、当院から他病院に常勤医を送った経緯がある。また常勤医を送られたケースもある。制約もあるので双方の調整が難しいが、全く不可能ではない。
- ・ 救急外来等に関するデータについては、毎月報告書等において把握しているので、5月の委員会に提出できると考えている。

上記のことを踏まえ、委員長より今後専門的知識や経済的、法律的な観点から分析、評価していくとともに、事務局にはアンケート調査（概要）、救急外来統計及び平成22年度決算等に関する必要資料を次回委員会に提出するよう求め、散会となる。

以上